

製造
身知精
正

株式会社 アムコ

株式会社ミツバの特例子会社※

障害のある方が活躍できる仕事を創出



社員の声



戸高 鼓太郎さん
(入社:平成23年4月)

頑張りを認めてもらえるのが嬉しいです

・仕事内容

スキャン業務を担当しています。様々な大きさの紙図面があるため、セットの仕方や、紙図面に折り目がつかないように気を付けながら作業をしています。

・仕事に対する思い

入社当初は特例子会社とはどういった会社なのか分からない部分が多かったのですが、仕事を任されていくにつれ、特例子会社でも普通の会社と変わらないことに気がきました。自分が頑張った仕事をしっかり評価してもらえることが嬉しく、また、他の社員が頑張っている姿を見ると「自分も頑張らなくては」と気合が入り、より一層頑張ることができます。現在は会社主催のCADの勉強会に参加しており、自分でも図面を書けるようになることが目標です。

・就職を考えている障害のある方へ

じっとしているだけではなくにもできず、なにも分からないと思います。自分で企業のことを調べてみる、家族や支援機関のサポートを受けて実習や就職面接会に参加するなど、自分から積極的に動くことが大事だと思います。

社員の1日のスケジュール

障害のある社員36名のうち、発達障害のある戸高さんの仕事の様子を紹介します。

7:45 ● 出社

8:00 ● 作業開始

図面のスキャン業務を行います。スキャンする際に紙図面に折り目がつかないように気を付けながら作業を行います。

12:00 ● 昼食

食堂で他の社員と一緒に談笑しながら昼食をとります。

12:45 ● 作業再開

引き続きスキャン業務を行います。スキャンした電子図面をパソコンで確認し、問題が無いか確認をします。

17:00 ● 退社

自分のデスクや、身の回りの清掃を行い、日報を提出して退社します。



■スキャン業務

専用のスキャナーを使用して、データとして紙図面を取り込みます。



■データ処理業務

スキャンした電子図面をパソコンで確認し、細部の修正などを行います。



■先輩からの指導

同じフロアで作業をしているため、分からないことがあった時などはすぐにフォローしてもらえます。

雇用に際しての取り組み

障害のある社員のモチベーションアップ

障害のある社員に目標を決めてもらい、定期的に行う面談と一緒に振り返るようにしています。目標を設定させることにより、仕事に対する意識の向上を図り、目標を達成した際の喜びを味わってもらえれば、仕事をさらに好きになってくれると考えているからです。企業としては、定年まで勤めてもらいたいと考えているため、モチベーションの維持は常に意識しています。



仕事に対して責任を持ってもらう

障害があるからといって、仕事でミスをしていい時代は終わりました。当社の仕事では、一人のミスが全員のミスにつながり、商品に重大な欠陥を引き起こすこともあるため、障害の有無に関わらず、「自分たちの作っている製品の機能はどういったものか」「製品に欠陥があるとどうなるのか」を彼らに分かるように説明し、理解をもらった上で、責任感を持って業務に従事してもらっています。



長い目でみる

障害のある社員の中には、障害のない社員並みに早く仕事を覚える人も一方で、覚えることが苦手な人もいます。しかし、丁寧に指導をすることにより、必ずできるようになるため、最初は覚えるのが遅かった障害のある社員も他の社員に追いつき、今では同様の仕事をもらっています。一か月・二か月といった短い期間で判断をするのではなく、一年・二年といった長い期間で見守ることが大切です。



御家族の理解

当社では御家族をお招きした懇談会を行っており、障害のある社員の御家族に、実際に彼らの働いている様子を見学していただいています。多くの方が「うちの子の働きに驚いた」と感激されていて、当社としても障害者雇用に取り組んできて良かったと思える瞬間でもあります。障害のある社員・御家族・企業で連携し、サポートすることにより、彼らも長く働きたいと思ってもらえるのではないかと思います。



事業内容

株式会社アムコは、群馬県内に親会社がある会社としては、初の特例子会社として平成18年に設立しました。主な業務として、車などに使われる部品の製造・設計及び製図などを行っています。生産工程の工夫と改善を重ねるとともに、社内のバリアフリー化を図ることによって、障害のある社員が活躍する生産効率の高い職場づくりを実践しています。



障害のある社員の業務内容

- ・部品の組み立て業務
- ・設計、CAD製図業務



障害者雇用を検討される事業所のみなさまへ

障害のある方の仕事を創出することが企業の「仕事」です



代表取締役社長
武藤 春喜さん

実際にやってみる

障害特性を理解し、障害のある方にできる仕事を創出することが、企業の仕事だと考えています。親会社に足を運び、一つ一つの業務を自分の目でみながら、この業務のこの部分であれば彼らに任せられると判断した仕事について、親会社から受注できるように交渉しています。頭で考えるだけでなく、実際に動き、現場をよく観察することにより、どのような

業務であれば彼らに任せられるのが把握できると思います。

特例子会社という道

企業の事業内容によっては、障害者法定雇用率を達成することが難しい場合もあると思います。そのような場合には、特例子会社を設立するという方法は有効です。助成金制度などもあるため、まずは支援機関へ相談することから始めてみるのが良いでしょう。

※特例子会社・・・障害のある方の雇用の促進及び安定を図るため、障害のある方の雇用に特別の配慮をして設立した子会社。一定の条件を満たす場合には、雇用率の算定において親会社の一事業所とみなされる。

■事業所データ

設立 2006年(平成18年)
常用労働者数 37人
代表者 代表取締役社長 武藤 春喜
所在地 〒376-0013 群馬県桐生市 広沢町7-5059-1

TEL:0277-52-2631
URL:www.mitsuba.co.jp



■会社概要

株式会社ミツバの特例子会社として平成18年に設立しました。

■障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 36人
うち重度障害のある社員数 14人

区分	身体	知的	精神
正社員	5人	28人	3人
契約社員			
パート			
アルバイト			

製造
身知精
正

サンデンプライムパートナー 株式会社

サンデン株式会社の特例子会社※

充実した教育により、企業の貴重な戦力へ



社員の声



小林 幸司さん
(入社：平成25年4月)

日々の仕事に達成感を得られています

・仕事内容

親会社に納品する部品の梱包をしています。1日に何百個、もしくは千個以上を梱包することもあるため、体力が必要な仕事だと思います。また、仕事をしていて何か困った時は、間違ったことをすると余計に大変になるため、自分で勝手に判断せず、必ず上司に確認をとるようにしています。

・仕事に対する思い

日によって梱包する数や部品が異なるため、一緒に作業をするメンバーとの意思疎通が重要になります。そのため、積極的にコミュニケーションをとり、和気あいあいと仕事ができるように心掛けています。また、1日の作業が終わり、山積みになった梱包済の部品を見ると「今日はこんなに仕事ができたと」いった達成感を仲間と共有できることが嬉しいです。

・就職を考えている障害のある方へ

まず、自分にどんな仕事ができるのかを探してみるから始めると良いと思います。何ができればはっきりすれば、面接などでも企業にアピールできるようになることにより、採用されやすくなると思います。

社員の1日のスケジュール

障害のある社員17名のうち、精神障害のある小林さんの仕事の様子を紹介します。

- 8:40 ● 出社**
朝礼を行い、1日の業務や連絡事項などを確認し、工場内の清掃を行います。
- 9:00 ● 作業開始**
梱包ラインに入ります。4~5人で行う流れ作業のため、ペースが乱れないようにコミュニケーションを取りながら進めていきます。
- 12:10 ● 昼食**
食堂で他の社員と一緒に談笑しながら昼食をとりまします。
- 12:50 ● 作業再開**
午前中の作業の続きを行います。終わり次第上司に報告し、別のラインのサポートに入るなどしています。
- 17:30 ● 退社**
日報を提出して退社します。



■ラベル準備
梱包ラインの工程の一つです。梱包された部材に貼るラベルの準備をします。



■梱包用ダンボール箱の組み立て
梱包ラインの工程の一つです。梱包するためのダンボール箱を組み立てます。



■ピッキング作業
必要な部材・道具などを在庫置場から調達します。

雇用に際しての取り組み

定期面談を行う

特例子会社として設立してから継続して実施しているのが、障害のある社員と定期的に行う面談です。障害や体調の状況などを把握するとともに、仕事に対する希望や悩みなどを聞き、日々の仕事の割り振りや勤務時間を変更するなどの配慮を行っています。



仕事ができるようになるまで待つ

障害のある方が入社した際は、簡単な軽作業を本人の理解度に合わせて教えるようにしています。「できないから他の仕事を教える」のではなく、「まずは一つの仕事を覚えられるまで待つ」というスタンスで彼らの教育に当たっています。最初は仕事ができなくて当たり前です。何度も根気よく教えることにより、徐々にではありますが、彼らもそれに応えるようになり、必ず仕事ができるようになってくれます。



職場全体でサポート

障害のある社員に長期にわたって働き続けてもらうためにも、業務中に障害のある社員が困っていた時にはすぐにフォローに入る、職場で孤立しないよう積極的に声をかけるなど、障害のある社員が働きやすい環境づくりを第一に考えています。そのため、現場の社員には、「常に周囲に気配りをするように」と指示を出し、職場全体で障害のある社員をサポートするようにしています。



支援機関による生活面のサポート

障害のある社員の仕事面に関するサポートは事業所でも対応できますが、生活面のサポートは難しいため、支援機関にサポートを依頼しています。例えば、障害のある社員が出勤できなくなってしまった際に、自宅を訪問してもらい、さらには、通院に同行してもらい、彼らの体調などの情報を共有してもらうことにより、日々の仕事量を調整できるため、サポートしてくれる支援機関は重要な存在となっています。



事業内容

サンデンプライムパートナー株式会社は、サンデン株式会社の特例子会社として平成25年に設立しました。主な事業として、親会社であるサンデン株式会社から受注した部品の製造や梱包、配送、事務業務を行っています。



障害のある社員の業務内容

- ・機械部品の梱包、発送業務
- ・清掃業務
- ・データ入力などの事務業務



障害者雇用を検討される事業所のみなさまへ

企業がしっかり育てれば、立派な戦力として働いてくれます



代表取締役
比護 裕司さん

特性を理解する

障害のある方に対して、多くの企業が「仕事なんてできないのではないかと」考えていると思います。障害のある方を実際に雇用してみると、障害のない方よりも作業スピードは遅く、仕事を覚える時間もかかります。しかし、実習や面談などを通じて、彼らの特性を理解し、それぞれに合った仕事を担当させ、できるようになるまでしっかり教育することにより、障害のない方よりも

もできるようになることもあります。

接する機会を作る

「障害のある方がどのような仕事ができるのか」は、実習などで一緒に働くことで理解できると思います。また、特別支援学校や障害者雇用をしている企業の見学会に参加するなど、障害のある方の就職に向けた準備・訓練の様子などを実際に見ることにより、理解を深めていただきたいと思います。

※特例子会社・・・障害のある方の雇用の促進及び安定を図るため、障害のある方の雇用に特別の配慮をして設立した子会社。一定の条件を満たす場合には、雇用率の算定において親会社の一事業所とみなされる。

■事業所データ

設立 2013年(平成25年)
常用労働者数 18人
代表者 代表取締役 比護 裕司
所在地 〒372-8502 群馬県伊勢崎市 寿町20

TEL:0270-24-6536
URL:www.sanden.co.jp



■会社概要

サンデン株式会社の特例子会社として平成25年に設立。

■障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 17人
うち重度障害のある社員数 6人

区分	身体	知的	精神
正社員	6人	5人	6人
契約社員			
パート			
アルバイト			